

健康日本21の進捗状況について(暫定版)

(平成23年3月14日現在)

| 年 月 | 事 項 |
|--------|--|
| 平成 | |
| 10年11月 | ・健康日本21企画検討会の設置承認(公衆衛生審議会総合部会・健康増進栄養部会・成人病難病対策部会3部会合同部会) |
| 11. 6 | ・第六次改定日本人の栄養所要量 |
| 12. 2 | ・21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)について報告書(健康日本21企画検討会、健康日本21計画策定検討会) |
| 3 | ・「健康日本21の推進について」(厚生事務次官通知、保健医療局長通知、3局長通知)を発出(3月31日) |
| | ・食生活指針策定 |
| 4 | ・厚生省内に健康日本21推進本部を設置 |
| 7 | ・「健康日本21」全国都道府県主管課長等会議 |
| 11 | ・健やか親子21検討会報告書(母子保健課) |
| 12 | ・第1回健康日本21推進国民会議開催(12月26日) |
| 13. 1 | ・省庁再編 |
| 2 | ・健康日本21推進全国連絡協議会発起人会 |
| 3 | ・第1回健康日本21推進全国連絡協議会総会 |
| | ・第2回健康日本21推進国民会議(3月21日) |
| | ・第1回健康日本21全国大会(3月21日) |
| 6 | ・第1回健やか親子21全国大会(母子保健課)(6月27日) |
| 8 | ・「健康日本21」全国都道府県主管課長等会議 |
| | ・健康日本21地方計画策定の支援に資するセミナー(市町村セミナー)(8月9日) |
| 9 | ・第2回健康日本21推進全国連絡協議会総会(9月7日) |
| 10 | ・第3回健康日本21推進国民会議(10月26日) |
| 13. 11 | ・政府・与党社会 保障改革協議会「医療制度改革大綱」を公表 |

| | | |
|-----|---|---------------------------|
| 12 | ・健康増進法案の国会提出について（厚生科学審議会 地域保健・健康増進栄養部会） | |
| 14. | 3 | ・第2回健康日本21全国大会（3月15日、島根県） |
| 6 | ・第3回健康日本21推進全国連絡協議会総会（6月19日） | |
| 7 | ・第1回健康日本21評価手法検討会（7月17日） | |
| | ・健康増進法成立（7月26日） | |
| 8 | ・健康増進法公布（8月2日） | |
| | ・「健康日本21」全国都道府県主管課長等会議（8月7日） | |
| | ・第2回健康日本21評価手法検討会（8月23日） | |
| 9 | ・健康づくり国際会議（9月21日、京都） | |
| 10 | ・第3回健康日本21評価手法検討会（10月31日） | |
| 11 | ・平成14年糖尿病実態調査実施 | |
| | ・第2回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月14日、15日） | |
| | ・健康日本21地方計画策定の支援に資するセミナー（市町村セミナー）（11月21日） | |
| | ・健康増進法及び今後のたばこ対策について（厚生科学審議会 地域保健健康増進栄養部会） | |
| 12 | ・第4回健康日本21推進国民会議（12月4日） | |
| | ・「今後のたばこ対策の基本的な考え方について（意見具申）」とりまとめ（厚生科学審議会） | |
| 15. | 1 | ・第4回健康日本21評価手法検討会（1月15日） |
| 2 | ・第3回健康日本21全国大会開催（2月7日、滋賀県） | |
| | ・健康増進法に基づく基本方針について（厚生科学審議会 地域保健健康増進栄養部会） | |
| 3 | ・第5回健康日本21評価手法検討会（3月24日） | |
| | ・「健康日本21評価手法検討会中間報告」とりまとめ | |
| | ・「健康日本21評価手法検討会調査分科会報告書」とりまとめ | |
| | ・健康増進法に基づく基本方針について（厚生科学審議会 地域保健健康増進栄養部会） | |
| | ・「健康づくりのための睡眠指針検討会報告書」とりまとめ | |

| | |
|-----|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 4・健康増進法に基づく基本方針告示、施行関係通知発出（4月30日） 5・健康増進法施行（5月1日） 6・第4回健康日本21推進全国連絡協議会総会（6月25日） <ul style="list-style-type: none"> ・第6回健康日本21評価手法検討会（6月27日） ・今後のがん戦略について（厚生科学審議会 地域保健健康増進栄養部会） 7・第3次対がん10か年総合戦略を策定（文部科学大臣、厚生労働大臣 7月25日） 8・第5回健康日本21推進国民会議（8月4日） 9・「健康日本21」全国都道府県主管部局長等会議開催（9月2日） 11・第4回健康日本21全国大会開催（11月7日、8日、岩手県） <ul style="list-style-type: none"> ・第3回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月6、7日） |
| 16. | <ul style="list-style-type: none"> 3・第7回健康日本21評価手法検討会（3月19日） <ul style="list-style-type: none"> ・「健康日本21評価手法検討会報告書」とりまとめ ・「健康づくりのための食環境整備に関する検討会報告書」とりまとめ 5・WHOたばこ対策枠組条約への締結を国会で承認 <ul style="list-style-type: none"> ・健康フロンティア戦略を策定（与党幹事長・政調会長会議） 6・WHOたばこ規制枠組条約批准（6月8日） <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進事業者に対する健康診査の実施等に関する指針告示（6月14日） ・第1回たばこ対策関係省庁連絡会議幹事会（たばこ対策関係省庁連絡会議の設置）（6月15日） ・平成14年糖尿病実態調査報告書とりまとめ ・第1回WHOたばこ規制枠組政府間作業部会開催（6月21日～25日、ジュネーブ） 7・第6回健康日本21推進国民会議（7月30日） 9・第5回健康日本21全国大会開催（9月17日、山梨県） 11・第4回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月16、18日） <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の食事摂取基準（2005年度版）（厚生科学審議会 地域保健健康増進栄養部会） |

| | |
|-----|---|
| 17. | <ul style="list-style-type: none"> 1・第1回たばこ対策関係省庁連絡会議（1月18日） ・第2回WHOたばこ規制枠組政府間作業部会開催（1月31日～2月4日、ジュネーブ） 2・WHOたばこ規制枠組条約発効（2月27日） 4・地域職域連携推進事業の開始（協議会の設置） 5・がん対策推進本部の設置 6・食育基本法成立 <ul style="list-style-type: none"> ・「食事バランスガイド」策定公表 7・食育基本法施行 9・第6回健康日本21全国大会開催（9月9日、鹿児島県） 10・第5回健やか親子21全国大会（母子保健課）（10月27日） 11・第7回健康日本21推進国民会議（11月10日） |
| 18. | <ul style="list-style-type: none"> 2・WHOたばこ規制枠組条約第1回締約国会議（2月6日～17日） 3・食育推進基本計画食育推進会議決定 6・がん対策基本法成立 <ul style="list-style-type: none"> ・医療制度改革関連法成立 ・第1回食育推進全国大会（内閣府）（6月24日、大阪府） ・自殺対策基本法成立 7・「健康づくりのための運動基準2006報告書」とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくりのための運動指針2006報告書」とりまとめ 8・第2回たばこ対策関係省庁連絡会議（8月10日） 10・自殺対策基本法施行 11・第7回健康日本21全国大会開催（11月2日、岡山県） <ul style="list-style-type: none"> ・第6回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月21・22日） |
| 19. | <ul style="list-style-type: none"> 2・WHOたばこ規制枠組条約報告書提出（2月27日） 4・都道府県健康増進計画改定ガイドライン、健康日本21中間評価報告書、標準的な健診・保健指導プログラム等について（厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会） <ul style="list-style-type: none"> ・がん対策基本法施行 ・がん対策推進協議会の設置 ・「ニコチン依存症指導管理料」新設（禁煙治療の保険適用） |

| | |
|-----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 4・第8回健康日本21推進国民会議（4月23日） <ul style="list-style-type: none"> ・がん対策推進基本計画閣議決定 ・自殺対策総合大綱閣議決定 6・第2回食育推進全国大会（内閣府）（6月9・10日、福井県） 6-7・WHOたばこ規制枠組条約第2回締約国会議（6月30～7月6日） 9・第8回健康日本21全国大会開催（9月7日、福井県） 11・第7回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月15・16日） 12・糖尿病等の生活習慣病対策の推進について（中間取りまとめ） <ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康づくり推進懇談会設置 |
| 20. | <ul style="list-style-type: none"> 3・女性の健康週間創設（毎年3月1日から8日） <ul style="list-style-type: none"> ・健やか生活週間国民運動プレイベント開催（3月15・16日、東京都） 4・医療制度改革関連法施行、特定健診・特定保健指導開始 6・第3回食育推進全国大会（内閣府）（6月7・8日、群馬県） <ul style="list-style-type: none"> ・第3回たばこ対策関係省庁連絡会議（6月26日） 7・がん対策推進本部において国の主な取り組みを提示（7月24日） <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策加速化プラン（自殺総合対策会議決定） 10・第9回健康日本21全国大会開催（10月4日、熊本県） 11・元気2008！健康日本21～健やか生活習慣国民運動～開催（11月7・8・9日、東京都） <ul style="list-style-type: none"> ・WHOたばこ規制枠組条約第3回締約国会議（11月17日～22日） ・第8回健やか親子21全国大会（母子保健課）（11月27・28日） |
| 21. | <ul style="list-style-type: none"> 3・女性の健康週間とイベント <ul style="list-style-type: none"> ・第9回健康日本21推進国民会議（3月2日） 5・「受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会報告書」とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・「日本人の食事摂取基準（2010年版）策定検討会報告書」とりまとめ 6・第4回食育推進全国大会（内閣府）（6月13・14日、島根県） 7・がん検診50%推進本部設置 11・「慢性疾患対策の更なる推進に関する検討会検討概要」公表 <ul style="list-style-type: none"> ・第10回健康日本21全国大会開催（11月11日、富山県） |

| | |
|--|---|
| | <p>22. 2 ・いのちを守る自殺対策緊急プラン（自殺総合対策会議決定）</p> <p>・「受動喫煙防止対策について」（H22.2.25局長通知で趣旨を周知）</p> <p>3 ・女性の健康週間とイベント</p> <p>・「コミュニケーションの手引き」（生活習慣の改善をうながすために）公表</p> <p>5 ・「アルコールの有害な使用を軽減するための戦略」（WHO総会で採択）</p> <p>6 ・第5回食育推進全国大会（内閣府）（6月12・13日、佐賀県）</p> <p>10 ・たばこ1本あたり3.5円の税率引き上げ</p> <p>11 ・第11回健康日本21全国大会開催（11月11日、愛媛県）</p> <p>・WHOたばこ規制枠組条約第4回締約国会議（11月15日～20日）</p> <p>12 ・「慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防・早期発見のあり方について」とりまとめ</p> <p>23. 2 ・「Smart Life Project」開始</p> <p>3 ・女性の健康週間とイベント</p> <p>・第1回健康日本21評価作業チーム（3月14日）</p> <p>・「Smart Life Project Week」の実施（3月7日～27日）</p> |
|--|---|

「健康日本21」地方計画の策定状況について

(都道府県)

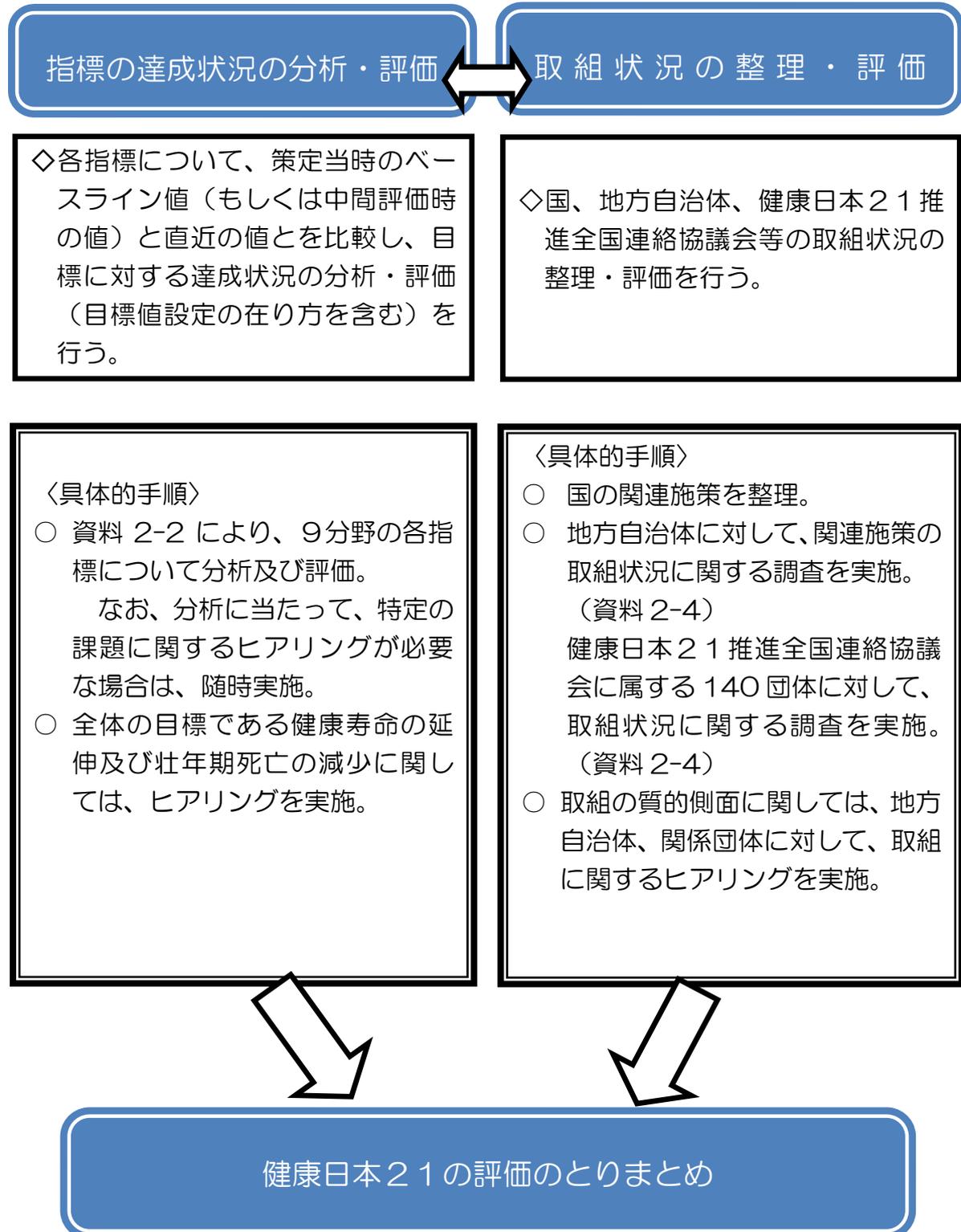
全ての都道府県において計画策定済 (平成14年3月末)

(市町村、特別区)

| | 総数 | 計画策定済 | 平成22年度中 策定予定 | 平成23年度中 策定予定 | 平成24年度 以降 策定予定 | 策定予定 なし |
|------------|-------|-------|-----------------|-----------------|----------------------|------------|
| 保健所 政令市 | 66 | 65 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 東京都 特別区 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 市町村 | 1,661 | 1,245 | 45 | 99 | 234 | 38 |

(平成22年12月1日現在)

健康日本21の評価作業の進め方について（案）



健康日本21の目標値に対する直近実績値に係るデータ評価シート (案)

〇〇分野

| 分野:〇〇 | | | |
|---|---|-------------------|------------------|
| 目標項目:〇. 〇 〇〇〇 | | | |
| 目標値 | 策定時のベースライン値 (HO年〇〇調査) | 中間評価 (HO年〇〇調査) | 現状値 (HO年〇〇調査) |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| | | コメント | |
| (1)直近値に係るデータ分析 ・直近値が、目標値に対してどのような動きになっているか、留意点を含み分析 | 経年変化を踏まえたベースライン値と現状値の分析・特徴(性、年齢、項目別の分類など)を踏まえた分析 〇〇〇 | | |
| (2)データ等分析上の課題 ・調査・分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。 | 〇〇〇 | | |
| (3)最終評価 ・最終値が目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。 | 〇〇〇 | | |
| (4)今後の課題及び対策の抽出 ・最終評価を踏まえ、今後強化・改善等すべきポイントを簡潔に記載 | 〇〇〇 | | |
| (5)その他コメント | 〇〇〇 | | |

○(分野番号) ○○○(案)

〈指標の達成状況〉

| | | | |
|---------|------------|--|--|
| 改善した | 目標値に達した | | |
| | 目標値に達していない | | |
| 変わらない | | | |
| 悪くなっている | | | |

※各指標の達成状況については、別添シート参照

〈総括評価〉

| |
|--|
| |
|--|

〈指標に関連した施策〉

| |
|--|
| |
|--|

健康日本21の各項目についてのデータ一覧表

資料2-3

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | |
|--|--|------------------------|--------|---------------------|---------------|-------------------|-------------------|---------|--|
| 1 栄養・食生活 | 1.1 適正体重を維持している人の増加 (肥満者等の割合) | a)児童・生徒の肥満児 (6～14歳) | 7%以下 | 10.7% | H9年 国民栄養調査 | 10.2% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)20歳代女性のやせの者 | 15%以下 | 23.3% | | 21.4% | | | |
| | | c)20～60歳代男性の肥満者 | 15%以下 | 24.3% | | 29.0% | | | |
| | | d)40～60歳代の女性の肥満者 | 20%以下 | 25.2% | | 24.6% | | | |
| | 1.2 脂肪エネルギー比率の減少 (1日当たり平均摂取比率) | a)20～40歳代 | 25%以下 | 27.1% | H9年 国民栄養調査 | 26.7% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 1.3 食塩摂取量の減少 (1日当たり平均摂取量) | a)成人 | 10g未満 | 13.5g | H9年 国民栄養調査 | 11.2g | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 1.4 野菜の摂取量の増加 (1日当たり平均摂取量) | a)成人 | 350g以上 | 292g | H9年 国民栄養調査 | 267g | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 1.5 カルシウムに富む食品の摂取量の増加 (1日当たりの平均摂取量・成人) | a)牛乳・乳製品 | 130g以上 | 107g | H9年 国民栄養調査 | 101g | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)豆類 | 100g以上 | 76g | | 65g | | | |
| | | c)緑黄色野菜 | 120g以上 | 98g | | 89g | | | |
| 1.6 自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加 (実践する人の割合) | a)男性(15歳以上) | 90%以上 | 62.6% | H10年 国民栄養調査 | 60.2% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | b)女性(15歳以上) | 90%以上 | 80.1% | | 70.3% | | | | |
| 1.7 朝食を欠食する人の減少 (欠食する人の割合) | a)中学、高校生 | 0% | 6.0% | H9年 国民栄養調査 | 6.2% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | b)男性(20歳代) | 15%以下 | 32.9% | | 34.3% | | | | |
| | c)男性(30歳代) | 15%以下 | 20.5% | | 25.9% | | | | |
| 1.8 量・質ともに、きちんとした食事を する人の増加 (一日最低一食、きちんとした食事を、家族 等2人以上で楽しく、30分以上かけてとる人 の割合) | a)成人(20歳以上) | 70%以上 | 56.3% | H8年 国民栄養調査 | 61.0% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |

| 分野 | | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | |
|--------------|--|--|--------------|-------|---------------------|----------------|-------------------|-------------------|---------|--|
| 1 栄養・食生活 | 1.9 | 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加 (参考にする人の割合) | a)成人男性 | 30%以上 | 20.1% | H12年 国民栄養調査 | 18.0% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | | b)成人女性 | 55%以上 | 41.0% | | 40.4% | | | |
| | 1.10 | 自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加 (理解している人の割合) | a)成人男性 | 80%以上 | 65.6% | H8年 国民栄養調査 | 69.1% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | | b)成人女性 | 80%以上 | 73.0% | | 75.0% | | | |
| | 1.11 | 自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加 (改善意欲のある人の割合) | a)成人男性 | 80%以上 | 55.6% | H8年 国民栄養調査 | 59.1% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | | b)成人女性 | 80%以上 | 67.7% | | 67.3% | | | |
| | 1.12 | ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進 (提供数、利用する人の割合) | a)男性(20～59歳) | 50%以上 | 34.4% | H12年 国民栄養調査 | 28.1% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| b)女性(20～59歳) | | | 50%以上 | 43.0% | 43.7% | | | | | |
| 1.13 | 学習の場の増加と参加の促進 (学習の場の数、学習に参加する人の割合) | a)成人男性(20歳以上) | 10%以上 | 6.1% | H12年 国民栄養調査 | 7.4% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | | b)成人女性(20歳以上) | 30%以上 | 14.7% | | 15.3% | | | | |
| 1.14 | 学習や活動の自主グループの増加 (自主グループの数) | a)成人男性(20歳以上) | 5%以上 | 2.4% | H12年 国民栄養調査 | 3.5% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | | b)成人女性(20歳以上) | 15%以上 | 7.8% | | 7.4% | | | | |
| 1.15 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加 (メタボリックシンドロームを知っている人の割合(全国平均)) | a)20歳以上 | 80%以上 | — | — | — | — | | | |

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | |
|--|---|-----------------|----------|------------------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|---------|--|
| 2 身体活動・運動 | 2.1 【成人(20歳以上)】 意識的に運動を心がけている人の増加 (意識的に運動している人の割合) | a)男性 | 63%以上 | 51.8% | H8年 保健福祉動向調査 | 54.2% | H15年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)女性 | 63%以上 | 53.1% | | 55.5% | | | |
| | 2.2 【成人】 日常生活における歩数の増加(日常生活における歩数) | a)男性(15歳以上) | 9,200歩以上 | 8,202歩 | H9年 国民栄養調査 | 7,532歩 | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)女性(15歳以上) | 8,300歩以上 | 7,282歩 | | 6,446歩 | | | |
| | 2.3 【成人(20歳以上)】 運動習慣者の増加 (運動習慣者の割合) | a)男性 | 39%以上 | 28.6% | H9年 国民栄養調査 | 30.9% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)女性 | 35%以上 | 24.6% | | 25.8% | | | |
| | 2.4 【高齢者】 外出について積極的な態度をもつ人の増加 (運動習慣者の割合) | a)男性(60歳以上) | 70%以上 | 59.8% | H11年 高齢者の日常生活に関する意識調査 | 51.8% | H15年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | b)女性(60歳以上) | 70%以上 | 59.0% | | 51.4% | | | |
| c)80歳以上(全体) | | 56%以上 | 46.3% | 38.7% | | | | | |
| 2.5 【高齢者】 何らかの地域活動を実施している者の増加 (地域活動を実施している人) | a)男性(60歳以上) | 58%以上 | 48.3% | H10年 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査 | 66.0% | H15年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | b)女性(60歳以上) | 50%以上 | 39.7% | | 61.0% | | | | |
| 2.6 【高齢者】 日常生活における歩数の増加 (日常生活の歩数) | a)男性(70歳以上) | 6,700歩以上 | 5,436歩 | H9年 国民栄養調査 | 5,386歩 | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | b)女性(70歳以上) | 5,900歩以上 | 4,606歩 | | 3,917歩 | | | | |
| 2.7 【高齢者】 安全に歩行可能な高齢者の増加 (開眼片脚起立時間20秒以上に該当する人の増加) | a)男性(65~74歳) | 80%以上 | 68.1% | H8年度 健康づくりに関する意識調査 | — | — | | | |
| | b)男性(75歳以上) | 60%以上 | 38.9% | | — | | | | |
| | c)女性(65~74歳) | 75%以上 | 62.4% | | — | | | | |
| | d)女性(75歳以上) | 50%以上 | 21.2% | | — | | | | |
| 2.8 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加 | 1. 15 栄養・食生活 参照 | | | | | | | |

| 分野 | | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | |
|------------------------|-----|---|-------------|-----------|---------------------|-----------------------------------|---------|---|---------|--|
| 3 休養・ こころの 健康 | 3.1 | ストレスを感じた人の減少 (ストレスを感じた人の割合) | a)全国平均 | 49%以下 | 54.6% | H8年度 健康づくりに関する 意識調査 | 62.2% | H15年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 3.2 | 睡眠による休養を十分にとれていな い人の減少 (とれない人の割合) | a)全国平均 | 21%以下 | 23.1% | H8年度 健康づくりに関する 意識調査 | 21.2% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 3.3 | 睡眠の確保のために睡眠補助品や アルコールを使うことのある人の減 少 (睡眠補助品等を使用する人の割合) | a)全国平均 | 13%以下 | 14.1% | H8年度 健康づくりに関する 意識調査 | 17.6% | H15年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 3.4 | 自殺者の減少 (自殺者数) | 全国数 | 22,000人以下 | 31,755人 | H10年 人口動態統計 | 30,539人 | H16年 人口動態統計 | | |
| 4 たばこ | 4.1 | 喫煙が及ぼす健康影響についての 十分な知識の普及 (知っている人の割合) | a)肺がん | 100% | 84.5% | H10年度 喫煙と健康問題に 関する実態調査 | 87.5% | H15年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | | b)喘息 | 100% | 59.9% | | 63.4% | | | |
| | | | c)気管支炎 | 100% | 65.5% | | 65.6% | | | |
| | | | d)心臓病 | 100% | 40.5% | | 45.8% | | | |
| | | | e)脳卒中 | 100% | 35.1% | | 43.6% | | | |
| | | | f)胃潰瘍 | 100% | 34.1% | | 33.5% | | | |
| | | | g)妊娠に関連した異常 | 100% | 79.6% | | 83.2% | | | |
| | | | h)歯周病 | 100% | 27.3% | | 35.9% | | | |
| | 4.2 | 未成年者の喫煙をなくす (喫煙している人の割合) | a)男性(中学1年) | 0% | 7.5% | H8年度 未成年者の喫煙行 動に関する全国調 査 | 3.2% | H16年度 未成年者の喫煙 および 飲酒行動に関する 全国調査 | | |
| | | | b)男性(高校3年) | 0% | 36.9% | | 21.7% | | | |
| c)女性(中学1年) | | | 0% | 3.8% | 2.4% | | | | | |
| d)女性(高校3年) | | | 0% | 15.6% | 9.7% | | | | | |

| 分野 | | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | |
|------------|-----------------------------------|--|--------------------|--------|--|--|---|--|---------|--|
| 4 たばこ | 4.3 | 公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及 (分煙を実施している割合・知っている人の割合) | a)公共の場 | 100% | 都道府県 →89.4% 政令市等 →95.9% 市町村 →50.7% 保健所 →95.5% | H12年 地方自治体庁舎等 における禁煙・分煙 の実施状況調査 | 都道府県 →100% 政令市等 →100% 市町村 →89.7% 保健所 →100% | H16年 地方自治体庁舎等 における禁煙・分煙 の実施状況調査 | | |
| | | | b)職場 | 100% | 40.3% | H9年 労働者 健康状況調査 | 55.9% | H14年 労働者 健康状況調査 | | |
| | | | c)効果の高い分煙に関する知識の普及 | 100% | - | - | - | H17年 分煙の知識に関する 全国調査 | | |
| | 4.4 | 禁煙支援プログラムの普及 (禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合) | a)全国 | 100% | 32.9% | H13年度 地域保健・ 老人保健事業報告 | 39.7% | H15年度 地域保健・ 老人保健事業報告 | | |
| | 4.5 | 喫煙をやめたい人がやめる 参考(喫煙率、禁煙希望者の割合) | 喫煙率 | - | - | - | 男性:43.2% 女性:12.0% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| 禁煙希望者の割合 | | | - | - | - | 男性:24.6% 女性:32.7% | H15年 国民健康・栄養調査 | | | |
| 5 アルコール | 5.1 | 多量に飲酒する人の減少 (多量に飲酒する人の割合) | a)男性 | 3.2%以下 | 4.1% | H8年度 健康づくりに関する 意識調査 | 5.4% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | | | b)女性 | 0.2%以下 | 0.3% | | 0.7% | | | |
| | 5.2 | 未成年者の飲酒をなくす (飲酒している人の割合) | a)男性(中学3年) | 0% | 26.0% | H8年度 未成年者の飲酒行 動に関する全国調 査 | 16.7% | 平成16年度 未成年者の喫煙 および 飲酒行動に関する 全国調査 | | |
| | | | b)男性(高校3年) | 0% | 53.1% | | 38.4% | | | |
| | | | c)女性(中学3年) | 0% | 16.9% | | 14.7% | | | |
| d)女性(高校3年) | | | 0% | 36.1% | 32.0% | | | | | |
| 5.3 | 「節度のある適度な飲酒」の知識の普及 (知っている人の割合) | a)男性 | 100% | 50.3% | H13年 国民栄養調査 | 48.6% | H15年 国民健康・栄養調査 | | | |
| | | b)女性 | 100% | 47.3% | | 49.7% | | | | |

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | | |
|------------------------|--|---|------------------------|---------------------|-----------------|---------------------------|-------------------|------------------------|-------|--|
| 6 歯 の 健 康 | 6.1 | う歯のない幼児の増加 (う歯のない幼児の割合-3歳) | 全国平均 | 80%以上 | 59.5% | H10年度 3歳児歯科健康診 査 | 68.7% | H15年度 3歳児歯科健康診 査 | | |
| | 6.2 | フッ化物歯面塗布を受けたことのある 幼児の増加 (受けたことのある幼児の割合-3歳) | 全国平均 | 50%以上 | 39.6% | H5年 歯科疾患実態調査 | 37.8% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 6.3 | 間食として甘味食品・飲料を頻回飲 食する習慣のある幼児の減少 (習慣のある幼児の割合-1歳6ヶ月) | 全国平均 | 15%以下 | 29.9% | H3年 久保田らによる調 査 | 22.6% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 6.4 | 一人平均う歯数の減少 (一人平均う歯数-12歳) | 全国平均 | 1歯以下 | 2.9歯 | H11年度 学校保健統計調査 | 1.9歯 | H16年度 学校保健統計調査 | | |
| | 6.5 | フッ化物配合歯磨剤使用の増加(使 用している人の割合) | 全国平均 | 90%以上 | 45.6% | H3年 荒川らによる調査 | 52.5% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 6.6 | 個別的な歯口清掃指導を受ける人 の増加 (過去1年間に受けたことのある人の割合) | 全国平均 | 30%以上 | 12.8% | H5年 保健福祉動向調査 | 16.5% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 6.7 | 進行した歯周炎の減少 (有する人の割合) | a)40歳 | 22%以下 | 32.0% | H9~10年 富士宮市 モデル事業報告 | 26.6% | H16年 国民健康・栄養調査 | ----- | |
| | | | b)50歳 | 33%以下 | 46.9% | | 42.2% | | | |
| | 6.8 | 歯間部清掃用器具の使用の増加 (使用する人の割合) | a)40歳(35歳~44歳) | 50%以上 | 19.3% | H5年 保健福祉動向調査 | 39.0% | H16年 国民健康・栄養調査 | ----- | |
| | | | b)50歳(45~54歳) | 50%以上 | 17.8% | | 40.8% | | | |
| | 6.9 | 喫煙が及ぼす健康影響についての 十分な知識の普及 (知っている人の割合) | 4. 1 たばこ参照 | | | | | | | |
| | 6.10 | 禁煙支援プログラムの普及 | 4. 4 たばこ参照 | | | | | | | |
| | 6.11 | 80歳で20歯以上、60歳で24歯以 上の自分の歯を有する人の増加 (自分の歯を有する人の増加) | a)80歳(75~84)で20歯以 上 | 20%以上 | 11.5% | H5年 歯科疾患実態調査 | 25.0% | H16年 国民健康・栄養調査 | ----- | |
| b)60歳(55~64)で24歯以 上 | | | 50%以上 | 44.1% | 60.2% | | | | | |
| 6.12 | 定期的な歯石除去や歯面清掃を受 ける人の増加 (過去1年間に受けた人の割合) | 60歳(55~64歳) | 30%以上 | 15.9% | H4年 寝屋川市調査 | 43.2% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |
| 6.13 | 定期的な歯科検診の受診者の増加 (過去1年間に受けた人の割合) | 60歳(55~64歳) | 30%以上 | 16.4% | H5年 保健福祉動向調査 | 35.7% | H16年 国民健康・栄養調査 | | | |

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | 中間実績値等 | 現状値実績値等 | | |
|----------|--|--|--|---------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------|---------------------------------------|
| 7 糖尿病 | 7.1 | 成人の肥満者の減少 | 1. 1 栄養・食生活 参照 | | | | | |
| | 7.2 | 日常生活における歩数の増加 | 2. 2 身体活動・運動 参照 | | | | | |
| | 7.3 | 質・量ともにバランスのとれた食事 | 1. 8 栄養・食生活 参照 | | | | | |
| | 7.4 | 糖尿病健診の受診の促進 (受けている人の数) | 定期健康診断等糖尿病に関する健康診断受診者 | 6,860万人以上 | 4,573万人 | H9年 健康・福祉関連 サービス需要実態 調査 | 5,850万人 | H16年 国民生活基礎調査 |
| | 7.5 | 糖尿病検診受診後の事後指導の推進 (受けている人の割合) | a)糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率(男性) | 100% | 66.7% | H9年 糖尿病実態調査 | 74.2% | H14年度 糖尿病実態調査 |
| | | | b)糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率(女性) | 100% | 74.6% | | 75.0% | |
| | 7.6 | 糖尿病有病者の減少 (推計) | 糖尿病有病者数 | 1,000万人 | 690万人 | H9年 糖尿病実態調査 | 740万人 | H14年度 糖尿病実態調査 |
| | 7.7 | 糖尿病有病者の治療の継続 (治療継続している人の割合) | 糖尿病有病者の治療継続率 | 100% | 45.0% | H9年 糖尿病実態調査 | 50.6% | H14年度 糖尿病実態調査 |
| | 7.8 | 糖尿病合併症の減少 (合併症を発症した人の数) (合併症を有する人の数) | 【合併症を発症した人の数】 a)糖尿病性腎症 (糖尿病性腎症によって新規に人工透析導入となった患者) | 11,700人 | 10,729人 | 1998年 「わが国の慢性透析療法 の現況」(日本透析医学会) | 13,920人 | 2004年 「わが国の慢性透析療法 の現況」(日本透析医学会) |
| | | | 【合併症を有する人の数】 b)失明 (糖尿病性網膜症による視覚障害) | — | 約3,000人 | 1988年 「視覚障害の疾病 調査研究」 | — | — |
| | 7.9 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加 | 1. 15 栄養・食生活 参照 | | | | | |
| 7.10 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少(メタボリックシンドロームの該当者・予備群の人数(40~74歳)) | 該当者・予備群(男性) | H24年10%以上減少 (対H20年) H27年25%以上減少 (対H20年) | 1,400万人 (参考値) | H16年 国民健康・栄養調査 | — | — | |
| | | 該当者・予備群(女性) | H24年10%以上減少 (対H20年) H27年25%以上減少 (対H20年) | 560万人 (参考値) | | — | — | |
| 7.11 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上 (特定健康診査の実施率) (特定保健指導の実施率) | a)健診実施率 | H24年70% H27年80% | 38.9% | H20年度 特定健康診査・特定保健指導の実施 状況 | — | — | |
| | | b)保健指導実施率 | H24年45% H27年60% | 7.7% | | — | — | |

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | 中間実績値等 | 現状値実績値等 | | |
|---|--|--|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------|----------------|
| 8 循環器病 | 8.1 食塩摂取量の減少 | 1. 3 栄養・食生活 参照 | | | | | | |
| | 8.2 カリウム摂取量の増加 (1日当たりの平均摂取量) | 成人 | 3. 5g以上 | 2.5g | H9年 国民栄養調査 | 2.4g | H16年 国民健康・栄養調査 | |
| | 8.3 成人の肥満者の減少 | 1. 1 栄養・食生活 参照 | | | | | | |
| | 8.4 運動習慣者の増加 | 2. 3 身体活動・運動 参照 | | | | | | |
| | 8.5 高血圧の改善 (推計) | (推計値)平均最大血圧 | † | 男性132.7mmHg 女性126.2mmHg | H10年 国民栄養調査 | 131.5mmHg 125.0mmHg | H16年 国民健康・栄養調査 | |
| | 8.6 たばこ対策の充実 | 4. たばこ 参照 | | | | | | |
| | 8.7 高脂血症の減少 (高脂血症の人の割合) | a)男性 ----- b)女性 | 5. 2%以下 ----- 8. 7%以下 | 10.5% ----- 17.4% | H9年 国民栄養調査 | 12.1% ----- 17.8% | H16年 国民健康・栄養調査 | |
| | 8.8 糖尿病有病者の減少 | 7. 6 糖尿病 参照 | | | | | | |
| | 8.9 飲酒対策の充実 | 5 アルコール 参照 | | | | | | |
| | 8.10 健康診断を受ける人の増加 (健診受診者の数) | 全国数 | 6, 860万人以上 | 4,573万人 | H9年 健康福祉関連サー ビス需要実態調査 | 5,850万人 | H16年 国民生活基礎調査 | |
| | 8.11 | 生活習慣の改善等による循環器病 の減少(推計) 脳卒中死亡率(人口10万対) | 全体 | † | 110.0 | H10年 人口動態統計 | 102.3 | H16年 人口動態統計 |
| | | | 男性 | † | 106.9 | | 99.9 | |
| | | | 女性 | † | 113.1 | | 104.5 | |
| | | 生活習慣の改善等による循環器病 の減少(推計) 脳卒中死亡数 | 全体 | † | 13万7,819人 | H10年 人口動態統計 | 12万9,055人 | H16年 人口動態統計 |
| 男性 | † | | 6万5,529人 | 6万1,547人 | | | | |
| 女性 | † | | 7万2,290人 | 6万7,508人 | | | | |
| 生活習慣の改善等による循環器病 の減少(推計) 虚血性心疾患死亡率(人口10万対) | 全体 | † | 57.2 | H10年 人口動態統計 | 56.5 | H16年 人口動態統計 | | |
| | 男性 | † | 62.9 | | 63.4 | | | |
| | 女性 | † | 51.8 | | 50.0 | | | |
| 生活習慣の改善等による循環器病 の減少(推計) 虚血性心疾患死亡数 | 全体 | † | 7万1,678人 | H10年 人口動態統計 | 7万1,285人 | H16年 人口動態統計 | | |
| | 男性 | † | 3万8,566人 | | 3万9,014人 | | | |
| | 女性 | † | 3万3,112人 | | 3万2,271人 | | | |
| 8.12 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪 症候群)を認知している国民の割合 の増加 | 1. 15 栄養・食生活 参照 | | | | | | |
| 8.13 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪 症候群)の該当者・予備群の減少 | 7. 10 糖尿病 参照 | | | | | | |
| 8.14 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪 症候群)の概念を導入した健診・保 健指導の受診者数の向上 | 7. 11 糖尿病 参照 | | | | | | |

| 分野 | 目標(指標の目安) | 対象 | 目標値 | ベースライン調査 (又は参考値) | | 中間実績値等 | | 現状値実績値等 | | |
|---------|-----------|--|---|---|---|---------------|----------------------------------|---|------------------|--|
| 9 がん | 9.1 | たばこ対策の充実 | 4. たばこ 参照 | | | | | | | |
| | 9.2 | 食塩摂取量の減少 | 1. 3 栄養・食生活 参照 | | | | | | | |
| | 9.3 | 野菜の摂取量の増加 (1日当たり平均摂取量) | 1. 4 栄養・食生活 参照 | | | | | | | |
| | 9.4 | 1日の食事において、果物類を摂取している者の増加 (摂取している人の割合) | 成人 | 60%以上 | 29.3% | H9年 国民栄養調査 | 63.5% | H16年 国民健康・栄養調査 | | |
| | 9.5 | 脂肪エネルギー比率の減少 | 1. 2 栄養・食生活参照 | | | | | | | |
| | 9.6 | 飲酒対策の充実 | 5. アルコール 参照 | | | | | | | |
| | 9.7 | がん検診の受診者の増加 (検診受診者数) | a)胃がん ----- b)子宮がん ----- c)乳がん ----- d)肺がん ----- e)大腸がん | 2,100万人以上 ----- 1,860万人以上 ----- 1,600万人以上 ----- 1,540万人以上 ----- 1,850万人以上 | 1,401万人 ----- 1,241万人 ----- 1,064万人 ----- 1,023万人 ----- 1,231万人 | | H9年 健康・福祉関連 サービス需要実態 調査 | 1,777万人 ----- 1,056万人 ----- 836万人 ----- 1,100万人 ----- 1,432万人 | H16年 国民生活基礎調査 | |

地方自治体、団体の取組状況調査票(案)

(都道府県用)

健康増進施策の取組状況等

| | |
|--------|--|
| 都道府県名 | |
| 所属・職名 | |
| 担当者名 | |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |

回答欄に必要事項を記入してください。

1 健康増進施策の推進体制について

(1) ①庁内に部局横断的な組織体制がありますか。いずれかに○をつけてください。

1 ある 2 ない

②あると回答した場合、そのトップは誰ですか。知事、△△部長等具体的に記述してください。

()

(2) 関係団体、民間企業、住民組織が参加した協議会・連絡会等の体制がありますか。いずれかに○をつけてください。

1 ある 2 ない

2 健康増進施策の取組状況について

| | (1)平成12年以降、取組を充実させましたか。 該当するもの1つに○をつけてください。 | | | |
|--------------------|--|---------|----------------------|-------|
| | 1 充実した* ¹ | 2 変わらない | 3 縮小した* ² | 4 未実施 |
| ① 肥満予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② バランスのとれた食事の実践の促進 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 身体活動・運動の実践の促進 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 休養・こころの健康づくり | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 受動喫煙防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 多量飲酒防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 歯の健康づくり | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 糖尿病予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 循環器疾患予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ がん検診受診率の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 特定健診・保健指導受診率の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 |

* 1「充実した」: 予算額だけではなく、取組内容の見直しや関係機関との連携強化などにより、取組の質を向上させた場合も含む * 2「縮小した」: 予算額の大幅な削減、投入する労力の減少のあった場合

(市区町村用)

健康増進施策の取組状況等

| | |
|--------|--|
| 市区町村名 | |
| 所属・職名 | |
| 担当者名 | |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |

回答欄に必要事項を記入してください。

1 健康増進施策の推進体制について

(1) ① 庁内に部局横断的な組織体制がありますか。いずれかに○をつけてください。

1 ある 2 ない

② あると回答した場合、そのトップは誰ですか。市長、△△部長等具体的に記述してください。

()

(2) 関係団体、民間企業、住民組織が参加した協議会・連絡会等の体制がありますか。いずれかに○をつけてください。

1 ある 2 ない

2 健康増進施策の取組状況について

| | (1)平成12年以降、取組を充実させましたか。 該当するもの1つに○をつけてください。 | | | |
|--------------------|--|---------|----------------------|-------|
| | 1 充実した* ¹ | 2 変わらない | 3 縮小した* ² | 4 未実施 |
| ① 肥満予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② バランスのとれた食事の実践の促進 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 身体活動・運動の実践の促進 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 休養・こころの健康づくり | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 受動喫煙防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 多量飲酒防止対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 歯の健康づくり | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 糖尿病予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 循環器疾患予防対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ がん検診受診率の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 特定健診・保健指導受診率の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 |

*1「充実した」: 予算額だけでなく、取組内容の見直しや関係機関との連携強化などにより、取組の質を向上させた場合も含む *2「縮小した」: 予算額の大幅な削減、投入する労力の減少のあった場合

(団体用)

「健康日本21」の推進に関する取組状況

| | |
|--------|--|
| 団体名 | |
| 担当者名 | |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |

1 健康日本21の推進の取組体制について

各項目について、いずれかに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------|------|-------|
| (1) 担当者を決めましたか。 | 1 はい | 2 いいえ |
| (2) 年度ごとに計画を立てて、取組を行いましたか。 | 1 はい | 2 いいえ |
| (3) 取組の評価を行いましたか。 | 1 はい | 2 いいえ |
| (4) 他の機関や団体との連携を図りましたか。 | 1 はい | 2 いいえ |
| (5) 自分の団体のホームページなどで取組みを公表しましたか。 | 1 はい | 2 いいえ |

2 健康日本21の推進の取組状況について

| | (1) 平成12年以降、取組を実施しましたか。 いずれかに○をつけてください。 | |
|--------------------|--|-----------|
| | 1 実施した | 2 実施していない |
| ① 肥満予防対策 | 1 | 2 |
| ② バランスのとれた食事の実践の促進 | 1 | 2 |
| ③ 身体活動・運動の実践の促進 | 1 | 2 |
| ④ 休養・こころの健康づくり | 1 | 2 |
| ⑤ 受動喫煙防止対策 | 1 | 2 |
| ⑥ 多量飲酒防止対策 | 1 | 2 |
| ⑦ 歯の健康づくり | 1 | 2 |
| ⑧ 糖尿病予防対策 | 1 | 2 |
| ⑨ 循環器疾患予防対策 | 1 | 2 |
| ⑩ がん検診受診率の向上 | 1 | 2 |
| ⑪ 特定健診・保健指導受診率の向上 | 1 | 2 |

健康日本21評価作業チームの今後の進め方について（案）

《第1回 平成23年3月14日》

- 健康日本21の進捗状況について
- 健康日本21の評価作業の進め方について

《第2回 平成23年4～5月》

- 指標の分析・評価について（担当委員からの報告）

《第3回 平成23年4～5月》

- 健康寿命等に関するヒアリング

《第4回 平成23年6～7月》

- 関係団体（協議会）の取組調査結果について
- 関係団体（協議会）の取組に関するヒアリング

《第5回 平成23年6～7月》

- 地方自治体の取組調査結果について
- 地方自治体の取組に関するヒアリング

《第6回 平成23年7～8月》

- 健康日本21の評価について

《第7回 平成23年7～8月》

- 健康日本21の評価とりまとめ（案）について

健康日本21評価作業チーム開催要綱

1 目的

厚生労働省においては、平成12年より、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を推進している。「健康日本21」では、目標の設定と目標を達成するための具体的な諸活動の成果を適切に評価して、その後の健康づくり運動に反映させることを基本方針の一つとして掲げている。

そこで、健康日本21評価作業チームは、2010年度からの最終評価に向けて、専門家等から意見を聴取し、評価のための作業を行うことを目的とし、厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室長が開催するものである。

2 構成員

- (1) 構成員は、「健康日本21」の計画策定に携わった分野ごとの専門家等若干名とする。
- (2) 必要に応じて有識者等を招聘するものとする。

3 検討事項

「健康日本21」の最終評価について

4 庶務

庶務は、健康局総務課生活習慣病対策室が行う。

5 その他

この要綱に定めるものの他、健康日本21評価作業チームの運営に関し、必要な事項は、生活習慣病対策室長が定める。

健康日本21評価作業チーム 構成員名簿

敬称略・五十音順

| 氏 名 | 所属・役職 |
|--------|---|
| 安藤 雄一 | 国立保健医療科学院 口腔保健部 口腔保健情報室長 |
| 尾崎 米厚 | 鳥取大学医学部 環境予防医学分野 准教授 |
| 兼板 佳孝 | 日本大学医学部 社会医学系公衆衛生学 准教授 |
| 鈴木 律朗 | 名古屋大学医学部・大学院系研究科 造血細胞移植情報管理・生物統計学、血液内科准教授 |
| 田嶋 尚子 | 東京慈恵会医科大学 名誉教授 |
| 辻 一郎 | 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授 |
| 津下 一代 | あいち健康の森 健康科学総合センター 副センター長 |
| 西 信雄 | (独)国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクト プロジェクトリーダー |
| 樋口 進 | (独)国立病院機構久里浜アルコール症センター 副院長 |
| 古井 祐司 | 東京大学医学部附属病院・HCC 予防医学研究センター長 |
| 三浦 克之 | 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 教授 |
| 宮地 元彦 | (独)国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム 運動ガイドラインプロジェクト プロジェクトリーダー |
| 山本 精一郎 | (独)国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報・統計部 がん統計解析室長 |
| 横山 徹爾 | 国立保健医療科学院 人材育成部長 |

評価作業担当分野（事務局案）

健康日本21評価作業チーム 構成員名簿

敬称略・五十音順

| 氏名 | 所属・役職 | 担当分野 |
|--------|---|--------------|
| 安藤 雄一 | 国立保健医療科学院 口腔保健部 口腔保健情報室長 | 歯の健康 |
| 尾崎 米厚 | 鳥取大学医学部 環境予防医学分野 准教授 | たばこ |
| 兼板 佳孝 | 日本大学医学部 社会医学系公衆衛生学 准教授 | 休養・こころの健康づくり |
| 鈴木 律朗 | 名古屋大学医学部・大学院系研究科 造血細胞移植情報管理・生物統計学、血液内科准教授 | 総括 |
| 田嶋 尚子 | 東京慈恵会医科大学 名誉教授 | 糖尿病 |
| 辻 一郎 | 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授 | 総括 |
| 津下 一代 | あいち健康の森 健康科学総合センター 副センター長 | 総括 |
| 西 信雄 | (独)国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクト プロジェクトリーダー | 栄養・食生活 |
| 樋口 進 | (独)国立病院機構久里浜アルコール症センター 副院長 | アルコール |
| 古井 祐司 | 東京大学医学部附属病院 ・HCC 予防医学研究センター長 | 総括 |
| 三浦 克之 | 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 教授 | 循環器病 |
| 宮地 元彦 | (独)国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム 運動ガイドラインプロジェクト プロジェクトリーダー | 身体活動・運動 |
| 山本 精一郎 | (独)国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報・統計部 がん統計解析室長 | がん |
| 横山 徹爾 | 国立保健医療科学院 人材育成部長 | 総括 |